

浮世絵等の活用に向けた基本計画の概要

1 基本計画の策定に当たって

平成28年9月：川崎・砂子の里資料館休館
 平成29年8月：公益社団法人川崎・砂子の里資料館からコレクションの活用検討依頼
 平成30年4月：「浮世絵等の活用に向けた基本方針(案)」策定(パブリックコメント実施)
 平成30年6月：「浮世絵等の活用に向けた基本方針」策定

| 基本方針で定めた「活用コンセプト」と「活用方針」 | |
|---|---------------------------|
| <p>“歴史×文化×芸術”による新しいエリアの創造</p> <p>浮世絵という世界に誇る川崎ならではの “歴史×文化×芸術”資源を活用し、様々な地域・世代をつなぐ 新たなにぎわい創出プロジェクト</p> | |
| 川崎の“歴史×文化×芸術”資源の活用 | 浮世絵を通じた 川崎の歴史・文化の継承 |
| 他施設との連携による 日本文化の魅力発信 | 「川崎ならではの」価値による にぎわいの創出 |

2 計画予定場所について

「基本方針」において整理した浮世絵等の展示に向けた活用の視点を踏まえ、候補とするエリアを「川崎駅周辺」として検討した結果、川崎駅前タワー・リパーク3階「アートガーデンかわさき」内の「文化財団事務室跡スペース」を計画予定場所とする。

川崎駅周辺地区の現況図

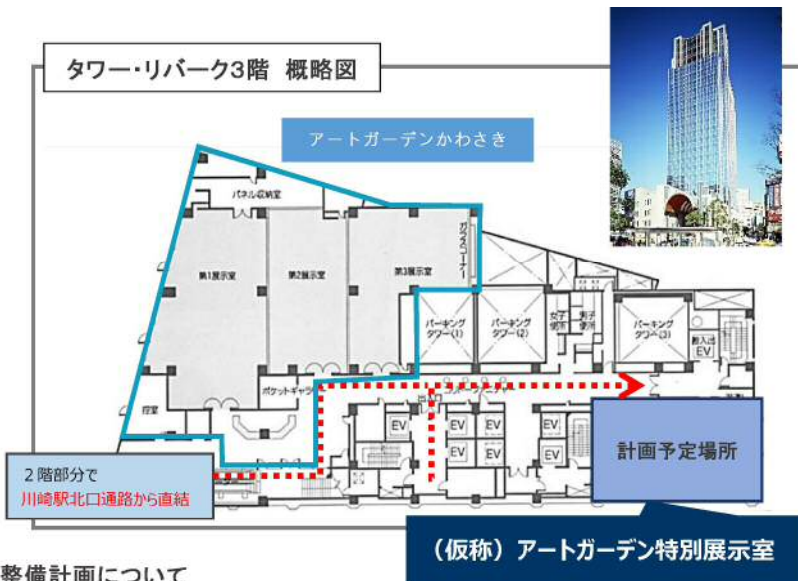


【計画予定場所概要】

名称：(仮称) アートガーデン特別展示室
 所在地：川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3階
 整備面積：約150㎡

【計画予定場所の選定理由】

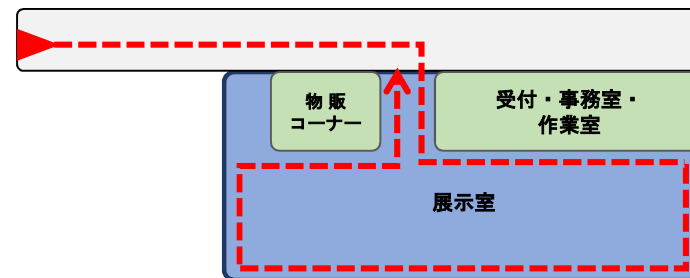
- ・150㎡の施設規模が確保でき、55～60枚程度の多様なシリーズ作品を一度に展示可能
- ・アートガーデン第1～3展示室を活用することで「体感・体験」等の企画も可能
- ・年間4万人を超えるアートガーデン来訪者が訪れることも期待できる。
- ・JR川崎駅北口直結による「かわさき きたテラス」や東海道かわさき宿交流館との連携も期待できる。
- ・京急川崎駅からの至近により、羽田空港からの訪日外国人等の誘客も期待できる。
- ・既存施設の利用を妨げることなく整備が可能となり、東京2020大会前に開設することで、効果的な誘客が期待できる。



3 整備計画について

浮世絵という貴重な文化資源により、歴史と文化と芸術を融合させた「川崎ならではの」価値を生み出し、市民はもとより、今後増加が見込める川崎への来訪者も誘客することによる新たなにぎわいを創出するため、(仮称)アートガーデン特別展示室(以下「特別展示室」という。)の整備を行う。

- 展示環境の考え方
 - ア 額装された浮世絵の大判サイズを1列で直接、壁に掛けて55枚以上展示
 - イ 一筆書きで回れるシンプルな動線
 - ウ 様々な企画に対応できる柔軟なレイアウトを可能とする可動壁の設置
- 展示設備の水準
 - ア 空調設備・・・ 作品保護の観点から、温度、湿度を適切に管理できる空調設備の整備
 - イ 照明設備・・・ 作品保護の観点から、紫外線が発生しないLED照明の設置
 - ウ 消火設備・・・ 作品への影響に配慮した運用を前提とした、既存消火設備の活用
 - エ 展示施設・・・ 掛け軸、巻物資料を展示する覗きケース、ハイケースの設置
- 作業環境
 - 額装ができるスペース及び展示用額の保管スペースを確保
- 配置機能及び動線計画



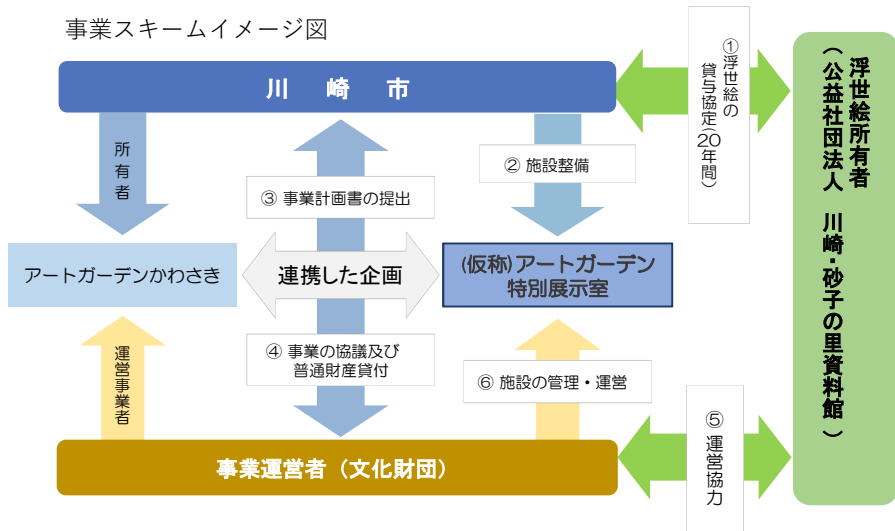
(5) 意匠の考え方

- ・浮世絵と親和性の高い「和」の空間を創出
- ・特別展示室への誘引効果や来館者によるSNS発信を意識した廊下壁面等を演出

浮世絵等の活用に向けた基本計画の概要

4 事業スキームについて

- 川崎市と社団法人との間で締結した「基本合意」に基づき、概ね20年間にわたり、展示に必要な浮世絵作品を無償で借用し、川崎市が整備する展示環境において運営事業者が展示を行う。
- アートガーデンは、市の文化行政の一翼を担う公益財団法人川崎市文化財団に普通財産として貸付を行うことで、文化財団の自主的な企画展の開催や、文化活動を支える市民の交流、創作活動の発表の拠点として有料貸出を行うなど、文化振興に資する取組を行ってきており、特別展示室となる文化財団事務室跡スペースについても、同様の運用が適当であることから、引き続き普通財産の貸付とする。
- 事業運営者は、アートガーデンを安定的・効果的に運営してきた文化財団による一体的な管理を通じ、フロア全体の効率的かつ効果的な運営が期待でき、更なる文化振興機能の強化の推進にもつながることから、文化財団とする。



5 展示計画について

浮世絵の特性に配慮しながら、コレクションを最大限に活用した展示等を実施

- (1) 4～5週を1つのサイクルとして、企画テーマに沿った50～60点程度をその都度借用し展示
- (2) 特定のジャンルや時代に偏らない幅広い作品群の特性を活かし、著名な作品に加え、郷土性に満ちた作品を展示し、歴史、背景などを学べるような企画を実施
- (3) アートガーデン展示室を活用し、市民の方々に加え、国内外の来訪者からも喜ばれる「体験・体感」イベント等の実施を検討

企画展ごとの浮世絵の展示



特定のジャンルや時代に偏らない幅広い作品群の特性を活かした魅力ある展示

川崎ゆかりの作品の展示



歌川広重・東海道五拾三次之内川崎 (川崎・砂子の里資料館 資料提供)

川崎にゆかりのある東海道五拾三次など郷土性のある作品を展示することで、歴史や背景を学べる企画を実施

国内外からの来訪者の誘客



JR川崎駅北口に直結し、京急川崎駅にも至近の立地優位性を最大限に活かした誘客効果を期待

6 運営計画について

- 特別展示室はアートガーデンと一体的な管理を行うことで、フロア全体について効率的かつ効果的な運営が期待でき、駅から直結という立地特性を最大限に活かし、高い事業採算性を目指す。
- ・事業運営者 : 公益財団法人川崎市文化財団
- ・事業計画の提出等 : 文化財団から「事業計画書」の提出を受け、市と財団との間で協定締結を予定

《文化財団に求める事業計画書の想定事項》

| | |
|----------|--|
| 運営方針 | 開館日や時間、入館料など、施設運営の基本となる効果的・効率的な運営方法の考え方 |
| 人員配置計画 | 展示担当員をはじめとする効率的、効果的な人員配置の考え方 |
| 展示・事業企画 | 浮世絵コレクションの活用による企画展示の考え方 展示以外の事業の考え方 |
| 連携企画 | 他の施設等との連携による回遊性等の向上に向けた取組の考え方 |
| 広報計画 | 来館者の確保、施設の魅力発信に向けた広報の考え方、近隣商業施設等との連携 |
| 効率的な収支計画 | 特別展示室の管理運営に必要な歳入・歳出計画 |
| 歳入確保策 | 効果的な誘客につながるセット料金等を含む入館料の設定、グッズや図録作成販売、年間パスポートの発行などのリピーター確保対策、ふるさと応援寄附金などの歳入確保に向けた考え方 |
| 作品の保護対策 | 浮世絵作品の運搬時及び展示の際における作品保護の考え方 |

- 他の施設との連携及び誘客への取組
「東海道かわさき宿交流館」、浮世絵や川崎市の郷土、歴史に関する作品などの文化財を収蔵する「市民ミュージアム」等との連携も検討
- 物販
関連グッズを購入できる物販コーナーを運営し、企画展示に関する図録の販売も想定
【想定されるグッズ】クリアファイル、手ぬぐい、メモ帳、ガチャガチャなど
- 想定される開館日等
開館日や開館時間については、駅直結という利便性を踏まえ、午後7時まで開館することも想定
・開館日 … 月曜日及び年末年始を除く毎日 (展示替えの際は一定期間の臨時休業あり)
・開館時間 … 午前10時から午後7時まで (曜日ごとに異なる時間設定も想定)
- 想定される人員体制
浮世絵作品の展示を行うための専門職員の配置、効率的な管理運営を図るため、特別展示室とアートガーデンの一体的な管理運営に対応する体制を構築

| 役割 | 想定する主な業務 |
|--------|------------------------------|
| 展示担当員 | 展示の企画、作品貸与の調整、図録執筆、事業企画、事務処理 |
| 受付・販売員 | 入館券販売、グッズ販売、(アートガーデン展示室受付) |
| 作品監視員 | 展示室における貴重な作品の安全管理 |

浮世絵等の活用に向けた基本計画の概要

7 事業費について

- ① 本事業は、市が整備した特別展示室を文化財団が管理運営するスキームであることから、整備事業費は市が負担
- ② 運営事業費(ランニングコスト)は、賃借料相当分の補助金を除き、入館料等の収入により賄うことを原則とし、展示環境の修繕に係る費用については市が負担

1) 整備事業費について

空調、消火設備等の施設改修に要する費用、浮世絵の展示に必要となる展示制作等に要する想定経費は次のとおり。

| 想定整備事業費 (税込) | | | |
|--------------|---------|---------------------|---------|
| 費目 | 概要 | 金額 | |
| 施設改修 | 空調設備 | 機器設備、空調及び換気ダクト設備改修等 | 1,050万円 |
| | 消火設備 | 配管設備、電気設備等 | 500万円 |
| | その他改修経費 | 解体工事、建具、電気配線、自動ドア等 | 3,900万円 |
| 展示制作等 | 展示照明設備 | LED照明等 | 4,050万円 |
| | 展示制作費 | 展示ケース、可動壁設置等 | 500万円 |
| | 備品購入費 | 展示室内備品等 | 500万円 |
| 合計 | | 1億円 | |

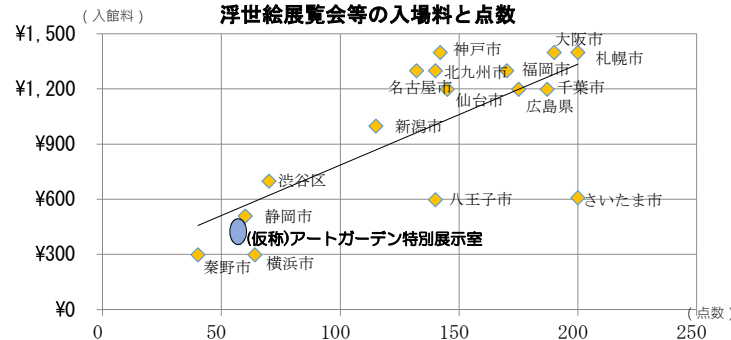
2) 運営事業費について

運営事業費の想定経費は次のとおり。

| 想定運営事業費 (税込) | | | |
|--------------|--------------|------------------------------|---------|
| 費目 | 概要 | 金額 | |
| 人件費 | 展示担当員、受付・販売員 | 給与、社会保険料、各種手当、アルバイト賃金、業務委託料等 | 1,400万円 |
| | 事業費 | 広報、グッズ・図録製作、作品運搬、保険等 | 740万円 |
| 事業経費 | 施設費 | 光熱水費、施設保守点検、清掃業務等 | 170万円 |
| 合計 | | 2,310万円 | |

3) 入館料について

他館等の入館料は次のとおり。



●入館料の考え方

- ・運営事業費(ランニングコスト)を原則入館料等の収入により賄えるよう、適切な入館料を設定
- ・他館の入館料を参考に、300円~500円程度が相当であると想定

●目標入館者数

類似施設の実績を参考に、東京2020大会を背景としたインバウンド効果も見込まれることなどから、一般の有料入館者について、年間6万人を目標とした集客計画を検討

| 施設名 | アクセス | (一般)入館料 (子ども) " | 入館者数/年 |
|-----------------------------|------------|---|-----------------------|
| 藤澤浮世絵館 (テナントビル単独フロア) | JR辻堂駅 徒歩5分 | 無料 | 開館後1年で約40,000人 |
| 太田記念美術館 (単独施設) | JR原宿駅 徒歩5分 | (一般) 企画展 700円 特別展 1,000円 (中学生以下) 無料 | 83,780人 (中学生: 2,587人) |
| (仮)アートガーデン特別展示室 (美術ギャラリー併設) | JR川崎駅 徒歩1分 | (一般) 300円~500円程度【想定】 (小学生以下) 無料【想定】 | 60,000人 (一般入館者数目標) |

4) 想定収入

- ・入館料については、他の美術館の実績等も踏まえ、一般300円~500円程度、子ども等を無料と想定
- ・グッズの売り上げについては、他館の状況から、購入割合を概ね10%・客単価500円程度と想定
- ・図録販売については、他館の状況から、購入割合概ね5%、客単価1,000~2,000円程度と想定

5) 川崎市ふるさと応援寄付金の考え方について

- ・「川崎市ふるさと応援寄付金」のメニューに追加。本事業の拡充、サービス向上に活用を予定

6) 運営事業費の収支シミュレーション

- ・「入館料の考え方」、「目標入館者数」及び「想定収入」を踏まえた本事業の収支シミュレーションにより、想定運営事業費(約2,310万円)を賄うことが可能となると想定
- ・ふるさと応援寄付金を活用した事業の拡充等により、入館者の満足度向上や入館者数の増加につなげる。

[入館者6万人、入館料を大人300円、図録を1,000円と仮定した想定]

| 入館者数 | 入館料 | グッズ売上 | 図録売上 | 合計 |
|------|---------|-------|-------|---------|
| 6万人 | 1,800万円 | 300万円 | 300万円 | 2,400万円 |

8 今後のスケジュール

